

特集

# 真岡木綿 織姫

×

# 市議会



栃木県伝統工芸士  
花井 恵子さん



栃木県伝統工芸士  
鶴見 純子さん



栃木県伝統工芸士  
中山 美枝子さん



真岡市技術認定者  
吉沢 知加子さん



研修生  
及川 裕子さん

今回は、真岡木綿の伝統を受け継ぐ織姫(おりこ)の皆さんにお越しいただきました。栃木県の伝統工芸品でもある真岡木綿の魅力、織姫になったきっかけややりがいについて、対談しました。

## 織姫になったきっかけは？

- ◆ 手仕事が好きでしたが、紡ぐことから織ることまでの全工程を手作業でやっていることが魅力的だったからです。

## 織姫としてのやりがいは？

- ◆ 伝統工芸士として、継承するのが仕事であり、商品開発から製品を作れる若い人を育てるのが生きがいです。



## 真岡木綿の魅力は？

- ◆ 栽培から紡いで染めて織る。伝統を守るため、全ての行程を手仕事でやっていることが魅力です。
- ◆ 真岡木綿は紡いで織るのに大変な時間がかかっている貴重な織物です。もっとPRしていきたいし、文化として伝えていきたいです。

## 今後の抱負は？

- ◆ 見ながら指導できるような新しい後継者を育てられる広い場所がほしいです。
- ◆ これまで、真岡木綿を作る伝統の中継ぎをしてきました。これから、この伝統を引き継げる人を探していきたいです。

## 市議会に要望したいことは？

- ◆ 真岡木綿を多くの人に知ってほしいです。真岡木綿を守っていくために、商工会議所だけでなく、広く、市議会でも広めてほしいです。
- ◆ 真岡市のためには、真岡木綿をもっと重く考えてほしいです。